

登録コード	A3594308	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	真壁 秀文
英文授業名	Thesis Research						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					有機合成化学、生物有機化学に関する研究テーマに取り組み、実験技術を習得し、分析データを解析できる能力を身につけている。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					有機合成化学、生物有機化学に関する研究テーマに取り組み、実験技術を習得し、分析データを解析できる能力を身につけている。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					有機合成化学、生物有機化学に関する研究テーマに取り組み、実験技術を習得し、分析データを解析できる能力を身につけている。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					有機合成化学、生物有機化学に関する研究テーマに取り組み、実験技術を習得し、分析データを解析できる能力を身につけている。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	ポリフェノールやポリケチド化合物およびテルペン類を研究対象として、有機合成化学の研究手法を習得する。また、関連する英文の文献を精読し、議論をする。						
(5)授業計画	自然界に存在するポリフェノールやポリケチド化合物の合成と合成した化合物の精製および機器分析を行う。また、関連する論文の精読し、議論をする。なお、最後の講義時に授業アンケートを行う。						
(6)自主学習の指針	実験手法に関して事前によく調べておくこと。関連論文もよく読んでおくこと。						
(7)成績評価の基準	セミナーや実験への取り組みを評価する。 なお成績評価の基準は下記の通りである。 評価基準： 評語 略記号 点数 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 59以下						
(8)事前事後学習の内容	実験前には実験計画をノートに書いておくこと。実験後にはデータの解析を行い、機器分析の結果を書いておくこと。また、セミナーの予習や復習を行うこと。						
(9)テストやレポートの予定	随時行う。						
(10)成績評価の方法	セミナーや実験への取り組みを総合的に評価する。 なお成績評価の基準は下記の通りである。 評価基準： 評語 略記号 点数 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 59以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	直接対応する。						
(12)履修上の注意	欠席はしないこと。						
【教科書】	特にありません。						
【参考書】	特にありません。						